

現代社会におけるコミュニケーションの不安

－大学生の友人関係を事例として－

「コミュニケーション能力」が重要視される現代社会において、人間関係はどのように変化しているのだろうか。先行研究によれば、現代社会は人びとが自らの選択によって友人関係を獲得する時代へと変化し、その中で、社会全体で孤立に対する不安が蔓延していることが分かっている。現代の人びとの人間関係は感情を中心にしたものへと変化しているのである。また、インターネットの普及も孤立への不安をあおるといえる。さらに、新聞記事検索では「友人」に関する記事の減少が見られ、逆に「孤立・孤独」に関する記事の増加が見られた。これらのことから、現代社会は孤立することへの不安をより感じやすくなっていることが分かっている。

本研究では、人間関係の質的变化の中に、孤立・孤独に関連した変化が起こっていることを検証するために、大東文化大学に通う学生にアンケートを取った。アンケート結果では、友人関係において、衝突を避ける傾向があったことが見てとれた。また、半数の人がコミュニケーションに不安を感じたことがあると回答した。

さらに、アンケート結果には、コミュニケーションにおいて何を重視するのかということについて男女で回答の差があり、女性は会話をする雰囲気、男性は会話そのものを重視する傾向にあった。また、SNS上への友人の有無によるコミュニケーションの差もあり、そこから、SNSでのコミュニケーション特有の特徴やそれにまつわる人間の心理状態についても検証することが出来た。さらに、不安を感じる友人関係に代わり、家族が強い結びつきを持っていることも検証できた。

現代社会において、人びとが関係を自由に選択することが出来るようになり、孤立や孤独を感じるようになったことで、コミュニケーションにおいても相手との衝突を避けたがる傾向にあることが分かった。人びとは友人関係を崩さぬよう円滑なコミュニケーションを取ろうとしていることが考えられる。

コミュニケーションの不安は、多くの価値観や社会問題に起因するものである。今後は様々なテーマを用いて、あらゆる角度から分析していくことが望まれる。